

講義・講演・工場見学等実施報告書

大学改革推進事業（COC+）

食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム		
実施日時	令和元年 11 月 20 日（水） 14：40 ～16：00	
実施場所	大講義室	
実施形態	① 講義・講演	
対象学生	電子制御工学科 2 年 40 名・情報工学科 2 年 40 名 計 80 名	
担当者	鹿児島高専	企業・団体等
	一般教育科 講師 池田 昭大 地域共同テクノセンター 特任教授 大竹 孝明	所属：日置市 役職：総務企画部企画課政策推進係 氏名：馬場 学
実施内容	<p>日置市総務企画部企画課政策推進係・馬場様より、電子制御工学科 2 年生及び情報工学科 2 年生に対して、特別講義を行っていただいた。</p> <p>講義の初めには日置市の紹介があり、全国的な課題となっている出生率の低下、さらに人口減少、高齢化社会となることの話をしていただいた。高齢化社会では、税収が減り、道路、水道の維持が困難になる事や、社会保障費が増える事など、様々な問題が起こりうることを説明された。</p> <p>このような問題に対して、地方創生として日置市が取り組んでいる新産業、仕事の創出について説明があった。また、地方創生は企業、大学など、全員が取り組むべき課題であり、どのような点から地方創生が可能であるか考えてほしいとの話をしていただいた。</p> <p>学生は熱心に講義を聴いていた。講義の最後には学生、教員からの質問もあり、丁寧に回答していただいた。</p>	
		